

京都府次世代自動車普及推進協議会
「第4回 FCV・水素社会研究部会」

議事概要

- 1 日 時 平成30年11月27日（火） 午後2時30分から午後4時30分まで
- 2 場 所 御所西 京都平安ホテル「朱雀の間」
- 3 出席者 自動車等メーカー、電力会社、学識経験者、経済団体、行政等
計13名
- 4 議 題 FCV・水素インフラの普及に向けたこれまでの取組について
水素関連企業からの取組事例紹介
今後の展開について

【主な内容・意見】

- 資源エネルギー庁の平成31年度概算要求では、四大都市圏以外の水素ステーション未設置地域が新たに補助事業対象に追加されたことから、FCバス、FCフォークリフト等の需要創出を検討しつつ府内北部等への水素ステーションの設置を進められないか。
- 東京オリンピック・パラリンピックや大阪万博を契機に水素技術の活用、導入が進むようなまちづくりが求められる。例えば、廃棄物収集運搬車や宅配車両等へのFCの導入が進めば、日常的な水素利用の需要が創出できるのではないか。
- 北海道での大規模停電時には、FCVから電力供給を行った実績もあり、災害時の非常用電源としてのFCV活用も有効的
- エコツーリズムの推進のためにFCVを活用する施策展開ができれば、インバウンドに対してもクリーンなまちというPRになり、京都の特色ある取組となるのではないか。